

平成25年7月吉日

関係各位

オホーツクADHD&LD懇話会代表

三河 誠

<公印省略>

オホーツクADHD&LD懇話会 研修会の開催について

貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2001年に設立いたしました当懇話会も、皆様のおかげで13年目を迎え活動しております。学習や毎日の暮らし、そしてまた子どもの育ちに困難を抱え、孤立したり仲間を求めていることの現れと考えられ、この懇話会への期待を感じているところです。

さて、今年度の活動として、「研修会」を別紙要項の通り、開催する運びとなりました。

つきましては、御多忙のこととは存じますが、事前の案内配布や研修会への参加等に対しまして特段のご配慮をくださいますようお願いいたします。

オホーツクADHD&LD懇話会「研修会」開催要項

1. 趣 旨

特別な理解と支援が必要な子どもの傍らにいる大人たちは、何とか子どもの育ちの力になりたいと願い毎日を過ごしています。本研修会は、子どもたちが自分の未来に希望が持てるよう、一人でも多くの大人たちが支え合うための知恵と哲学を確認し合うことを目的に開催します。

2. 主 催

主催：オホーツクADHD&LD懇話会

3. 日 時

平成25年7月30日（火）10：00～18：00（受付は9：30から）

4. 会 場

北見市芸術文化ホール 中ホール（〒090-0811 北見市泉町1丁目 TEL 0157-31-0909）

5. 内 容

講演① 10：00～12：00

演題 「今、改めて発達障害を学ぶ～その子の育ちの可能性を見とれる大人に～」

講師 薫化舎代表 ライフコース・コンサルタント 向井 義 氏

講演② 13：00～14：30

演題 「ストレスマネジメントを学ぶ」

講師 えじそんくらぶ 高山恵子 氏

講演③ 15：00～16：30

演題 「子ども達のための合理的配慮を学ぶ」

講師 教育ジャーナリスト 品川裕香 氏

討論会 17：00～18：00

テーマ 「特別支援教育」

登壇者 品川裕香氏, 向井 義氏, ほか

6. 参集範囲

保護者・ご家族の方々, 教育・療育・保育・福祉など関係者及び支援者, 学生,
子どもの育ちや支援に興味・関心のある方

7. 参加費

2,500円（懇話会会員は2,000円）

8. その他

参加申し込みの必要はありません。ご希望の方は、直接会場までお越し下さい。

録音・録画はご遠慮願います。託児はしておりません。

※「広報きたみ」等で竹田契一先生の講演会として紹介しましたが、竹田先生が病氣療養中のため、このような内容の研修会を企画しました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ 【懇話会事務局】

市野孝雄（訓子府町立訓子府中学校）Fax 0157-47-2728 Tel. 0157-47-2185
メール ichino51@nifty.com

10. 講師のご紹介

■向井 義（むかい ただし）薫化舎代表。ライフコース・コンサルタント

薫化舎は、代表である私向井が、「良い影響を与え合う人生の宿でありたい」という願いを持って設立いたしました。薫化とは「Personal Influence」の意味で、これは私の尊敬する新渡戸稲造先生の訳でもあります。また、社会科学側面でも薫化は社会化の一つのタイプであり、究極の理念であると考えて法務教官時代においても目標としていました。発達に課題を抱える人には、特に大切な理念でもあります。薫化舎では、ライフコース上派生するさまざまな問題や課題を共に解決するコンサルティング、アドバイス、セミナー、研修を行います。特に、日本では導入されていませんが、行動障害などに効果的な指導技術などを有しています。これらを駆使して、皆様のお役に立ちたいと思っています。おひとりおひとりのニーズに様々な角度から接近して、最善の予防策や改善策をご提供できればと考えています。ご相談は、早すぎることもありませんし、遅すぎることもありません。お気軽にアクセスしていただければと思います。（薫化舎H.P.から）

■高山恵子（たかやま けいこ）NPO法人えじそんくらぶ代表。臨床心理士、薬剤師。JDDネット副代表。昭和大学薬学部卒業後、10年間学習塾を経営。その後、アメリカ・トリニティー大学大学院修士課程修了（幼児・児童教育、特殊教育専攻）、同大学院ガイダンスカウンセリング修士課程修了。帰国後、児童養護施設、養護学校を経て、保健所での発達相談や保育園への巡回指導で臨床に携わる。専門は、ADHD等のある子と成人の教育とカウンセリング。教育関係者、保育者など支援者を対象としたセミナー講師としても活躍中

【著書】

- 『ADHDのサバイバルストーリー 本人の想い編—おっちょこちょいにつけるクスリ2』（ぶどう社2012年10月）
- 『親子のストレスを減らす15のヒント』（学研教育出版2012年2月）
- 『おっちょこちょいにつけるクスリ—ADHDなど発達障害のある子の本当の支援』（ぶどう社2007年10月）

■品川裕香（しながわ ゆか）教育ジャーナリスト・編集者

前文部科学省中央教育審議会特別支援教育の在り方に関する特別委員会専門委員、京都市教育委員会 支援の必要な子どもプロジェクトチーム専門委員、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター学外研究員、元内閣教育再生会議委員

【プロフィール】

兵庫県生まれ。早稲田大学法学部卒業。出版社で雑誌・書籍の編集に12年携わった後、2000年に独立。教育・医療・社会問題を異文化理解・予防的観点から取材執筆。国内外の教育現場（いじめ・不登校・虐待からLD・ADHD・アスペルガー症候群など特別支援教育、非行など矯正教育まで）、子ども・保護者・教師・支援者たちの思いを多角的に取材執筆。発達性ディスレクシア研究会（IDA日本支部）理事、NPO法人らんぷあんぷらざ理事、国際ディスレクシア協会（IDA）会員、日本LD学会会員、日本子どもの虐待防止研究会会員ほか

【著書】（一部）

- 『「働く」ために必要なこと：就労不安定にならないために』（ちくまブリーマー新書2013年5月）
- 『怠けてなんかない！ ディスレクシア ゼロシーズン～読む・書く・記憶するのが苦手になるのを少しでも防ぐために』（岩崎書店2011年1月）
- 『心からのごめんなさいへ 一人ひとりの個性に合わせた教育を導入した少年院の挑戦』（中央法規出版2005年7月）

オホーツクADHD&LD懇話会 研修会 2013

子どもの育ちを 支え合うには

子どもの育ちを支える知恵と哲学を確かめあいましょう

特別な理解と支援が必要な子どもの傍らにいる大人たちは、何とか子どもの育ちの力になりたいと願い毎日を過ごしています。本研修会は、子どもたちが自分の未来に希望が持てるよう、一人でも多くの大人たちが支え合うための知恵と哲学を確認し合うことを目的に開催します。おしあいの1時間で学びのまとめを試みます。

特別支援教育が始まり6年が過ぎました。インクルーシブな理解や支援のあり方が、本人・保護者からだけでなく、地域や時代からも問われています。子どもたちには発達障害のあるなしにかかわらず個性があります。理解と支援の必要な個性のある子どもたちは、「学びにくさ」や「生きにくさ」という生活上の困難に直面しています。私たち大人や保護者・教育者はいろいろな子どもがいることを理解して、丁寧に接する必要があります。今回は子ども・保護者・教育分野への支援でそれぞれに素晴らしい実績を持つ方々をお招きできました。是非ご参加ください。

7/30 (火)

講演・他 / 10:00~18:00

◆参加費 2,500円
(懇話会会員と家族は2000円)

主催:オホーツクADHD&LD懇話会
<http://www3.to/alto>

講師・演題

薫化舎代表
ライフコース・コンサルタント

向井 義 先生

「今、改めて発達障害を学ぶ～
その子の育ちの可能性を
見とれる大人に～」
10:00~12:00

えじそんくらぶ

高山 恵子 先生

「ストレスマネジメントを
学ぶ」 13:00~14:30

教育ジャーナリスト

品川 裕香 先生

「子ども達のための
合理的配慮を学ぶ」
15:00~16:30

●学習障害

知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すもの。

●高機能自閉症

知的発達の遅れはないが「他人との社会的関係の形成の困難さ」、「言葉の発達の遅れ」、「興味や関心が狭く特定のものにこだわること」を特徴とする。高機能広汎性発達障害と同義。言葉の遅れがない場合、アスペルガー障害とも呼ばれていた。総称してASDなど。

●注意欠陥多動性障害

注意力・衝動性・多動性を自分でコントロールできず、集中できない、忘れっぽい、ミスが多い、考えずに行動する、おしゃべり、落ち着きがないなどの困難。年齢や発達に不釣り合いな行動や衝動性を押さえきれない為トラブルメーカーと誤解されてしまうことも多い。

◆申し込み

事前の申し込みの必要はありません。どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。
9時30分開場予定

◆お願い

録音・録画はできません。
託児はありません。ご容赦下さい。

◆お問い合わせ

オホーツクADHD&LD懇話会事務局 市野孝雄
〒099-1431 常呂郡訓子府町東町410
訓子府町立訓子府中学校
Fax0157-47-2728 電話0157-47-2185
e-mail ichino51@nifty.com

◆会場

北見芸文ホール・中ホール
〒090-0811 北見市泉町1丁目3-22
TEL 0157-31-0909

ご案内図

